

開催日及び場所		令和2年3月12日(木)	横浜植物防疫所会議室	
委員		吉武 雅子(大学講師) 田邊 清貴(公認会計士) 田鍋 智之(弁護士)		
審議対象期間		令和元年10月1日～令和元年12月31日		
審議対象案件		18件 うち、1者応札案件9件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件		
抽出案件		5件 うち、1者応札案件4件 (抽出率 28%) (抽出率 44%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件 (抽出率 0%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	—	
		指名競争	公募型指名競争	—
			工事希望型競争	—
			その他の指名競争	—
			随意契約	—
	業務	一般競争	—	
		指名競争	公募型競争	—
			簡易公募型競争	—
			その他の指名競争	—
		随意契約	公募型プロポーザル	—
			簡易公募型プロポーザル	—
			標準型プロポーザル	—
	その他の随意契約		—	
	物品・役務等	一般競争	5件 うち、1者応札案件4件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件	
		指名競争	—	
随意契約(企画競争・公募)		—		
随意契約(その他)		—		
(特記事項) 特になし				
委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問	回答等	
		<p>検疫探知犬を用いた探知サービス委託業務(横浜本所、門司支所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・門司支所の案件では福岡まで関空ペットの職員がきて滞在するのか。</li> <li>・川崎の勤務時間は、成田・羽田のように深夜・早朝勤務はあるのか。</li> <li>・検疫探知犬が郵便物を探知する件数は多いのか。</li> <li>・動検で独自のハンドラーは養成しないのか。</li> <li>・民間のハンドラーは増えているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関空ペットが調達するハンドラーが在任する。</li> <li>・ない。勤務の時間帯は、10～16時のうち協議して定める4時間である。</li> <li>・そのとおり。</li> <li>・官のハンドラーを養成しそれにかかる人件費と民間委託することを考えた場合、民間委託したほうがコスト面で安価であるため、増頭分に関しては民間委託する方針である。</li> <li>・あまり増えていない。</li> </ul>	
		<p>検疫探知犬及びハンドラー訓練業務委託(羽田空港支所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・官の検疫探知犬の調達と国の職員に対するハンドラーの訓練を委託しているのか。</li> <li>・動検のハンドラーは増えたのか。</li> <li>・1頭に1人のハンドラーが付き、犬が変われば人も変わるのか。</li> <li>・ハンドラーはどういう人選で選ばれるのか。</li> <li>・急に探知犬が死んだ場合、どのような対応になるのか。</li> <li>・賞をとった犬でなければならないという仕様になっているのか。</li> <li>・訓練を提供する側がどのような人間が来るかわからないと受注しにくいと思うが、動物検疫所は、それに対してどのような人間に訓練を受けさせることとなるのか、といったことについて情報提供しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのとおり。</li> <li>・現在、全国で職員ハンドラーは10チームいる。</li> <li>・基本的には、1ペアを考えているが、職員の中では、2人で1頭の形もある。</li> <li>・人事上の要望・年齢・地域等によって人選しているところ。</li> <li>・そのような事例はまだ起こったことはないが、そうなった場合は、新しく1ペアを作ることとなる。民間の場合だと別のペアを用意してもらう。</li> <li>・なっていない。</li> <li>・職員の年齢等を考慮して人選しているが、具体的には行っていない。</li> </ul>	
		<p>通訳業務(北京語)及び家畜防疫官等補助業務(単価)(関西空港支所・沖縄支所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落札率は公表されるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・されない。</li> </ul>	
委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し所長が講じた措置]		特になし		